

「共感」は本当に  
良いことか？

哲学×心理学で考える

2023 12 / 10 日 15:00 ▶ 16:30

話し手

みやその

けんご

宮園 健吾さん

北海道大学大学院文学研究院 哲学倫理学研究室 准教授  
[現代英米哲学、心の哲学、心理学の哲学]

参加  
無料

会場

北海道大学 文系共同講義棟6番教室  
(札幌市北区北10条西7丁目)

開催形式

対面とオンラインのハイブリッド開催

申込期限

事前申込制 (当日参加可能)  
2023/12/8 (金) 17:00まで

お申し込みは  
こちらから!



150<sup>th</sup>  
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学  
創基150周年  
記念事業

北海道大学は2026年で  
150周年を迎えます。

<https://www.let.hokudai.ac.jp/event/23139>

哲学×心理学で考える

「共感」は本当に

良いことか？

「共感」は一般に良いものとされています。日常会話において「あの人は共感力が高い」というのは褒め言葉であり、逆に「あの人は共感力が低い」というのは非難の言葉として用いられます。他方で、近年では「共感」することの危険性についても議論されています。例えば、心理学者ポール・ブルームは『反共感論—社会はいかに判断を誤るか』（白揚社、2018年）の中で、「共感」はバイアスに左右され（例：可愛らしい子供、健気な人にばかり共感が集まってしまう）、近視眼的である（例：自分に似た性格や似た境遇の人にばかり共感してしまう）ことを指摘しています。

今回の人文学カフェでは、「共感」とは何か、「共感」することは良いことなのだろうか、などの問いについて、哲学及び心理学の知見を援用しながら、考えてみたいと思います。「共感」と利他行動に関する心理学実験を紹介し、哲学の立場から「共感」することの是非について検討します。



話し手のプロフィール

宮園 健吾 (みやぞの・けんご) さん

北海道大学大学院文学研究院  
哲学倫理学研究室 准教授  
現代英米哲学、心の哲学、心理学の哲学

1980年熊本県生まれ。早稲田大学教育学部、東京大学大学院人文社会科学系研究科修士課程、同研究科博士課程、日本学術振興会特別研究員DC2(東京大学)、日本学術振興会海外特別研究員(University of Birmingham)、日本学術振興会特別研究員PD(慶應義塾大学)、広島大学大学院総合科学研究科准教授などを経て、現職。著書に *Philosophy of Psychology: An Introduction* (Polity Press, 2021年)、*Delusions and Beliefs: A Philosophical Inquiry* (Routledge, 2018年) など。

人文学Café

北大人文学  
カフェとは

北大人文学カフェは、北海道大学大学院文学研究院・文學院の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文社会科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大学術研究院との交流を深めていくことを目指しています。

<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe>

お問い合わせ先

北海道大学 大学院文学研究院 研究推進室  
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目  
TEL/011-706-4083 Email/kenkyu@let.hokudai.ac.jp